

対応状況・反映状況の凡例

◎…すでにマスタープラン盛り込まれているもの

○…マスタープランへ反映を検討するもの

×…マスタープランへ反映しないもの

—…マスタープランへ反映させる必要がないもの

ワークショップで出された意見等に係る
都市計画マスタープランへの反映状況

8月20日（火）～8月30日（金）開催

No.	提案・意見内容	回答	対応状況	備考（マスタープラン反映箇所など）
(中心) 1	これまでのワークショップで出された意見が多く反映されており、良い計画になったと思います。	(都市政策課) 全4回のワークショップを開催し、このマスタープランの素案を作ることができました。御協力ありがとうございました。	—	
(中心) 2	東日本大震災以降、吉田町、焼津市などから移住地を求めている人たちがいるのだから、積極的に島田市中心市街地を開発して呼び込むべきではないか。	(都市政策課) 中心市街地については、土地区画整理事業や再開発事業などの大規模な開発は考えていませんが、基盤整備の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。 (2) 土地利用の方針 ③低・未利用地などにおける基盤整備の推進	◎	(2) 土地利用の方針 ③低・未利用地などにおける基盤整備の推進 空き地・空き家の敷地など低・未利用地については、 <u>市民・事業者・行政の協働により、土地の換地・集約、区画再編などを進め、道路・公園などを小さなエリアから整備を進め良好な市街地形成を図ります。</u> (原案) P126

<p>(中心) 3</p>	<p>中心市街地おいての企業誘致について記載されていない。積極的に取組むべきではないか。</p>	<p>(内陸フロンティア推進課) 既存工場の空き用地については、土地所有者の意向を踏まえつつ、企業誘致などの支援を行います。</p>	<p>○</p>	<p>(5) 活力・魅力づくりの方針 ⑩操業環境の維持と企業誘致 既存の工業地域・工業専用地域については、良好な操業環境の維持・向上を図ります。 また、既存工場の空き用地については、<u>土地所有者の意向を踏まえつつ、企業誘致などの支援を行います。</u> (原案) P130</p>
<p>(中心) 4</p>	<p>ドッグランを設けるなど、ペット愛好家の視点を取り入れながら、公園をもっと使い易くすれば、市外からの利用者が増加するのではないか。</p>	<p>(建設課) ばらの丘公園内に「ばらの丘ドッグラン」がありますので、是非御利用ください。</p>	<p>—</p>	
<p>(中心) 5</p>	<p>下水道事業が急に延長してきた。もっと計画的なスケジュールを数年前から示して実施しないと、市民も準備資金などの対応ができない。市の全体計画を理解していない市民が多いです。</p>	<p>(下水道課) 事業計画については、ホームページにて掲載し、地元説明については、自治会長を通じ回覧による周知後、事業説明会、工事説明会を開催しています。 今後は丁寧な周知説明に努めてまいります。</p>	<p>—</p>	
<p>(中心) 6</p>	<p>1メートル程度しかない道路にまで大金を使って下水道管の敷設工事を実施している。基盤整備と併せ整備するべきではないか。</p>	<p>(下水道課) 中心地域は、島田市の核となる市街地であり、下水道事業は、認可を受け、生活排水処理に必要な整備として都市施設に位置付けています。今後は大規模な基</p>	<p>—</p>	

		盤整備は実現が難しいため、生活衛生環境改善の視点から、下水道事業を進めていきたいと考えます。		
(中心) 7	地域別構想の項目順は、「安全安心・コミュニティの方針」より「活力・魅力づくりの方針」を先にした方が良いのではないか。	(都市政策課) 地域別構想の前段である全体構想において方針の序列を示しています。また、安全安心なまちづくりは、総合計画の中でも大きなテーマとして位置付けられていることを考慮しています。このため、項目の序列についてはこのままとします。	—	
(中心) 8	新庁舎のまちづくりへの活用についてもっと明確に記載できないか。	(資産活用課) 新庁舎建設事業を含む市役所周辺整備事業に係る基本構想（市役所周辺整備基本構想）では、事業の基本理念を「人がつどい 文化がうまれ まちがつながる みんなの広場」と定義しています。この理念に沿って、新庁舎については、今後の設計過程において行政運営の拠点としての本来機能に加え、市民の交流や賑わいの創出につながる役割の付与について検討していきます。	—	

<p>(中心) 9</p>	<p>この計画の内容はぼんやりしている印象がある。何を目玉にして島田市は成長して行くか、的を絞った計画にした方が良い。核となる事業が必要</p>	<p>(都市政策課) 都市計画マスタープランは、将来都市像を掲げ、将来都市像を目指すためには、どのように進めて行けば良いのか、方向性を示す計画です。 このため、具体的な事業計画については記載していませんので御理解下さい。</p>	<p>—</p>	
<p>(中心) 10</p>	<p>高校生に都市計画やまちづくりなどを学ぶ機会づくりが必要ではないか。そうすれば、知識をもった若者が将来に向けた、まちづくりに参加できる。</p>	<p>(都市政策課) 高校生をはじめ、小中学生についても都市計画やまちづくりを学ぶ機会是非常に重要なことです。 今後は、出前講座などを活用しながら、都市計画やまちづくりを学んでいただく機会を設けていきたいと考えます。</p>	<p>—</p>	
<p>(中心) 11</p>	<p>民間活力の導入を考えるなら、民間が参入しやすい環境を整備すべき。</p>	<p>(都市政策課) 民間が参入しやすい環境が必要という考え方に基づいて、以下の項目に記載しています。 (2) 土地利用の方針 ③低・未利用地などにおける基盤整備の推進 (5) 活力・魅力づくりの方針 ③本通六丁目・本通七丁目などにおける</p>	<p>◎</p>	<p>(2) 土地利用の方針 ③低・未利用地などにおける基盤整備の推進 空き地・空き家の敷地など低・未利用地については、<u>市民・事業者・行政の協働により、土地の換地・集約、区画再編などを進め、道路・公園などを小さなエリアから整備を進め良好な市街地形成を図ります。</u> (原案) P126</p>

		<p>市街地の再構築</p> <p>⑦魅力あふれる都市空間の形成</p>	<p>(5) 活力・魅力づくりの方針</p> <p>③本通六丁目・本通七丁目などにおける市街地の再構築</p> <p>本通六丁目・本通七丁目などにおいては、<u>リノベーションによる民間活力を導入しつつ、低・未利用地の換地・集約、区画再編、道路・公園などを小さなエリアから整備を進め良好な市街地形成を図ります。</u></p> <p>⑦魅力あふれる都市空間の形成</p> <p>魅力あふれる都市空間の形成については、街路の再構築、広場の整備、歩行者専用道路の有効活用などにより、市民や来訪者が憩い、にぎわいを生み出す空間の形成を図ります。</p> <p><u>公園については、「緑の基本計画」の見直しなどを通じて、将来人口の見込みや事業実施上の課題などを踏まえ、整備の優先度の設定を行います。長期未整備公園について代替施設の有無や代替機能の確保などを踏まえ見直しを行うとともに、<u>公園のあり方や民間による柔軟な利活用について、市民ニーズを踏まえ検討します。</u></u></p> <p>(原案) P129</p>
--	--	--------------------------------------	---

<p>(中心) 1 2</p>	<p>地域の将来像に掲げた「都市と自然が調和する歩いて暮らして楽しいまち」だが、これからの市街地をもっと良くしていくといった特徴付けの表現の方が良い。</p>	<p>(都市政策課) 地域の将来像につきましては、中心地域及び大津地域を併せて地域の将来像を掲げています。全体構想で都市の将来像として掲げた「大井川がつなぐコンパクトなまち[※]」を目指し「歩いて暮らす」、「歩いて楽しい」、「暮らして楽しい」をイメージした将来像を掲げています。また、ワークショップで実施した地域づくりの目標の中には、「暮らして楽しい」という御意見を参考にしています。</p>	<p>—</p>	
<p>(中心) 1 3</p>	<p>島田駅前が殺風景だと感じる。駐車場も必要かもしれないが、もっとモニュメントやイルミネーションなどを増やしたりして、にぎわいの演出や市の発信力向上に活用すべきだ。</p>	<p>(都市政策課) 島田駅前のにぎわい向上については、以下の項目に記載しています。 (1) 拠点づくりの方針 ② 市民や来訪者が集い楽しめる空間づくり</p>	<p>◎</p>	<p>(1) 拠点づくりの方針 ② 市民や来訪者が集い楽しめる空間づくり <u>島田駅や本通り周辺などについては、市民・団体・事業者などと協働し、市民や来訪者が集い楽しむことができる公共空間の整備、魅力ある店舗の誘導、イベントの開催などを行います。</u> (原案) P126</p>
<p>(中心) 1 4</p>	<p>向島町公園が将来構想図に記載されているが、現在整備されていない。これから整備するのか。測量をやるかというところから、公園整備はどのようになったのか地元で説明がない。</p>	<p>(建設課) 向島町公園については、現在測量が完了し、本年度中に実施設計が完了する予定です。公園の計画ができ次第、地元説明を計画いたします。</p>	<p>—</p>	

<p>(六合) 15</p>	<p>ワークショップの意見が反映いて、良く作られていると感じた。</p>	<p>(都市政策課) 全4回のワークショップを開催し、このマスタープランの素案を作ることができました。御協力ありがとうございました。</p>	<p>—</p>	
<p>(六合) 16</p>	<p>空き地・空き家対策を具体的に明記し、実行するべきだ。</p>	<p>(都市政策課) 空き地・空き家対策の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。具体的な施策については、個別計画で検討します。 (2) 土地利用の方針 ⑤空き地・空き家の利活用</p>	<p>◎</p>	<p>(2) 土地利用の方針 ⑤空き地・空き家の利活用 今後、増加が予測される<u>空き地・空き家</u>については、<u>リノベーションなどにより地域住民の交流の場などとしての活用や所有者と活用したい人のマッチングなどを通じた利活用を検討します。</u> (原案) P141</p>
<p>(六合) 17</p>	<p>河原大井川港線・島田大井川線の整備を明記する必要はないか。</p>	<p>(都市政策課) 島田大井川線の整備につきましては、交通の方針に明記しています。河原大井川港線も含めた標記として、右記のとおり修正します。</p>	<p>○</p>	<p>(3) 交通の方針 ①幹線道路の整備 幹線道路の整備については、(都)道悦旭町線、(都)御請道悦線、(市)谷口道線の整備を進め、国道1号の4車線化、東光寺インターチェンジのフルインターチェンジ化、(一)島田大井川線<u>など</u>については国・県に整備を働きかけます。 (原案) P142</p>

<p>(六合) 18</p>	<p>南北道路の改良工事を推進するべき。</p>	<p>(都市政策課) 南北交通や踏切による渋滞緩和のため、御請道悦線、島田大井川線、構想路線に位置付けている中河東光寺線の整備を進める方針です。この基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。</p>		<p>(3) 交通の方針 ①幹線道路の整備 幹線道路の整備については、(都)道悦旭町線、(都)御請道悦線、(市)谷口道線の整備を進め、国道1号の4車線化、東光寺インターチェンジのフルインターチェンジ化、(一)島田大井川線などについては国・県に整備を働きかけます。</p>
<p>(六合) 19</p>	<p>踏切による渋滞緩和の具体的解消方法を検討するべき。</p>	<p>(3) 交通の方針 ①幹線道路の整備</p>	<p>◎</p>	<p>また、構想路線に位置付けている(仮称)中河東光寺線については、地域の状況に応じて都市計画決定に向け検討します。 (原案) P142</p>
<p>(六合) 20</p>	<p>ゲリラ豪雨などの集中豪雨に備えた河川整備を早急に進めるべきだ。</p>	<p>(都市政策課) 河川整備などの基本的な考え方については、全体構想の安全安心な都市づくりの方針に記載しています。 (原案) P93(2) ①総合的な治水対策の推進参照 また、六合地域の河川整備の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。 (4) 安全安心・コミュニティの方針 ①河川整備</p>	<p>◎</p>	<p>(4) 安全安心・コミュニティの方針 ①河川整備 大井川については、「大井川水系河川整備計画」に基づき必要な改修を国に働きかけます。東光寺谷川については、栃山川水系河川整備計画に基づき、改修を県に働きかけます。 (原案) P142</p>

(六合) 2 1	水害対策として、東光寺の上流に防災用の湖を整備するべきだ。	(建設課) 東光寺谷川については、静岡県が下流から水害対策の改修工事を進めています。そのため、防災用の湖を整備する計画は現在ありません。	—	
(六合) 2 2	白岩寺公園を中心とした大規模公園を(整備・活用)するべきだ。	(都市政策課) 公園整備の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。 (1) 拠点づくりの方針 ②地域拠点における地域住民の憩い・交流空間の整備	◎	(1) 拠点づくりの方針 ②地域拠点における地域住民の憩い・交流空間の整備 地域拠点においては、地域住民の憩い、交流空間となる <u>公園</u> について、「緑の基本計画」の見直しなどを通じ、公園の <u>あり方や民間による柔軟な利活用</u> について、 <u>市民ニーズを踏まえ検討</u> します。 (原案) P141
(六合) 2 3	岸山の上や白岩寺に車で行ける公園を整備するべきだ。			
(六合) 2 4	雨水、生活排水、汚水などの下水道対策について記載がない。	(下水道課) 六合地域については、下水道事業の認可区域外であり、地域に係わらず今後も合併処理浄化槽の推進を図っています。	—	
(六合) 2 5	生活排水専用水路の整備を進める必要はないか。	(下水道課) 生活排水については、合併処理浄化槽など排水処理施設によりきれいな水に処理された後、道路側溝や排水路に放流さ	—	

		れていますので、専用水路の整備を進める予定はありません。		
(六合) 26	公共施設の駐車場の整備について記載する必要はないか。	(都市政策課) 公共施設には、それぞれの整備目的と役割があるため、具体的な附属施設をどうするかは、個別計画で対応することになります。	—	
(六合) 27	飲食できる施設を誘導する必要はないか	(都市政策課) 飲食店などは幹線道路沿道への誘導が必要だと考えます。このため、幹線道路沿道の土地利用の基本的な考え方について、以下の項目に記載しています。 (2) 土地利用の方針 ③幹線道路沿道の整備	◎	(2) 土地利用の方針 ③幹線道路沿道の整備 <u>(都) 岸元島田線、(都) 東町御請線の沿道は、自動車交通の利便性が高いことを考慮し、保全すべき農地の明確化を図り計画的な土地利用に努めます。</u> (原案) P141
(六合) 28	暮らすために必要な働く場の確保として、工業用地の確保を検討すべきだ。	(都市政策課) 工業用地については、現在ある良好な操業環境を維持していくことが必要と考えます。このため、既存の工業用地の考え方について、以下の項目に記載しています。 (5) 活力・魅力づくり方針 ③操業環境の維持	◎	(5) 活力・魅力づくり方針 ③操業環境の維持 <u>既存の工業地域・工業専用地域については、良好な操業環境の維持・向上を図ります。</u> (原案) P143

<p>(六合) 29</p>	<p>(仮称)中河東光寺線は六合地域にとって意味があるか。</p>	<p>(都市政策課) (仮称)中河東光寺線は、六合地域を南北に縦断する路線であり、慢性的に発生している踏切での渋滞を解消する路線として位置付けています。また、国道1号との接続をフルインターチェンジ化することにより、六合地域からのスムーズな都市間交通を確保する目的もあります。</p>	<p>—</p>	
<p>(初倉) 30</p>	<p>初倉公民館に交通結節点を位置付け、バスやタクシーによる移動サービスを充実させることが記載されているが、実際にバスを利用する人は少ない。現実的な表現の方が良いのではないか。</p>	<p>(都市政策課) バス利用者の増加対策については、個別計画での検討となります。 交通結節点や公共交通の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。 (3) 交通の方針 ④交通結節点の整備 ⑤バスなどの公共交通の充実</p>	<p>◎</p>	<p>(3) 交通の方針 ④交通結節点の整備 <u>初倉公民館などにおいて、バスなどの乗継の利便性を高める取り組みに努めます。</u> ⑤バスなどの公共交通の充実 <u>公共交通については、移動ニーズに合わせたバス、タクシーなどの効果的・効率的な運行を検討します。また、地域主体の自家用有償旅客運送制度の導入を検討します。将来的にはICTなどを活用した移動サービスの導入を検討します。</u> (原案) P152</p>

<p>(初倉) 3 1</p>	<p>防災拠点を整備する考えはないか。</p>	<p>(危機管理課)</p> <p>防災拠点には、設置する目的によって常設（専用）のものと、平素と有事で使い分けるものがあります。</p> <p>現在、地区の防災拠点となる第一次指定避難所として、地区内の4小・中学校を、また、初倉公民館及び初倉西部ふれあいセンターを第二次指定避難所に指定しています。また、初倉公民館は救護所としても指定しています。</p> <p>大規模災害の際には、これらの施設を活用するよう計画しております。</p> <p>地区の救援物資集積拠点として民間事業所と提携することも検討しております。</p> <p>さらに、広い意味では現在整備中の新東名島田金谷IC周辺のKADODE OOIGAWAや、旧金谷中学校跡地を、大井川右岸地域の多目的防災拠点として活用を検討していきたいと考えています。</p>	<p>—</p>	
<p>(初倉) 3 2</p>	<p>住民同士のコミュニケーション向上を目的に、今回のワークショップを継続して続けることはできないか。</p>	<p>(都市政策課)</p> <p>都市計画マスタープランにおけるワークショップは終了となります。これからのまちづくりは、住民の皆さんが中心と</p>	<p>—</p>	

		なり、合意形成を図ることが重要です。 ワークショップは終了しますが、出前講座の活用などを通じ、皆様の活動を支援していきたいと考えます。		
(初倉) 3 3	地域企業とコミュニケーションを取るためのワークショップを開催できないか。	(商工課) 開催されるワークショップの目的やテーマ等が決まり、開催される場合には、地域企業に参加いただけるように働きかけるなど、開催に向けた支援を行ってまいります。	—	
(初倉) 3 4	空港周辺に公園ができないか。	(都市政策課) 個別の公園整備の位置などは記載できませんが、公園整備の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。 (1) 拠点づくりの方針 ②地域住民の憩い・交流空間の整備	◎	(1) 拠点づくりの方針 ②地域住民の憩い・交流空間の整備 地域拠点においては、地域住民の憩い、交流空間となる公園について、「緑の基本計画」の見直しなどを通じ、 <u>公園のあり方や民間による柔軟な利活用について、市民ニーズを踏まえ検討します。</u> (原案) P151
(初倉) 3 5	蓬莱橋の初倉側の整備・発展と観光資源の活用が必要ではないか。	(観光課) 蓬莱橋に新たな価値を付加し、渡橋者を増やす手段として必要と考えており、地域でも散策ルートを紹介など積極的に	—	

		<p>動いていただいておりますので、これと呼応して活用を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>しかし、初倉側の整備にあたっては、河川区域や民地といった底地の課題調整や、最終処分場を返還するためのモニタリング結果の見極めなどが必要です。</p> <p>まずは状況を整理・確認し、整備方針などを固めてまいりたいと考えます。</p>		
(初倉) 36	無人販売所を増やし、マップを作成できないか。	<p>(農林課)</p> <p>無人販売所は、各所に農業者が独自に設置、運営しており、市では把握しておらず、無人販売所のマップ作成は困難と考えます。</p> <p>市では地産地消活動を行っている朝市グループの支援の一環として、朝市マップを作成し、市内の公共機関等に配置しています。</p>	—	
(初倉) 37	湯日地域の発展	<p>(都市政策課)</p> <p>湯日地域の魅力向上などの基本的な考え方については、以下の項目にて記載しています。</p> <p>(4) 安全安心・コミュニティの方針</p>	◎	<p>(4) 安全安心・コミュニティの方針</p> <p>⑤学校などにおける地域交流機能の充実</p> <p><u>将来学校の統合により生じる跡地の建物や土地については、地域ニーズ</u></p>

		<p>⑤学校などにおける地域交流機能の充実</p> <p>(5) 活力・魅力づくりの方針</p> <p>②歩いて楽しめるみちづくり</p>		<p><u>や立地特性を踏まえ、効果的な活用を検討します。</u></p> <p>(5) 活力・魅力づくりの方針</p> <p>②歩いて楽しめるみちづくり</p> <p><u>蓬莱橋、中條景昭像、社寺、湯日地区の拠点、湯日川沿いなど、歩いて楽しいルートについて、市民協働により一層魅力的な計画づくりを検討します。</u></p> <p>(原案) P153</p>
(初倉) 38	<p>景観保全は農家への負担になるだけだ。</p>	<p>(都市政策課)</p> <p>良好な景観形成の維持については、観光客などの来訪者のためではなく、住民が地域への愛着心の向上やプライドの醸成などを目的としています。景観形成には、より多くの住民参加が必要であり、長期間を要すると考えています。地域住民の皆様の御理解と御協力により、農家の方だけが負担することのないような取り組みが必要だと考えます。</p>	—	
(初倉) 39	<p>リニアによる大井川の水問題は初倉地域にどのような影響が出るのか周知する必要はないか。</p>	<p>(戦略推進課)</p> <p>議会からも初倉地域にとどまらずリニア問題について周知するように意見が出されています。</p>	—	

		こうしたこともあり、例えば移動市長室など市民が集まる場でその経過等を分かりやすく説明しているほか、広報はまだ10月号の市政羅針盤にリニア問題について昨年を引き続き取り上げたところです。		
(初倉) 40	今のままでは初倉の人口が減少し高齢化が進むだけではないか。	(都市政策課) 初倉地域の人口や高齢化率については、20年後の2040年に人口は約15%減少し、高齢化率は9%上昇すると予測されています。 このことを踏まえ、都市計画マスタープランの全体構想では、各地域に都市機能や居住機能を集約し人口密度維持することと、その拠点間をネットワークで結ぶ、コンパクト+ネットワークの都市づくりを進め対応することを記載しています。	—	
(金谷) 41	県道島田岡部線の大井川橋で慢性的に発生する渋滞緩和について記載がない	(都市政策課) 県道島田岡部線の大井川橋で発生する渋滞につきましては、国道1号を4車線化することにより、県道の渋滞が緩和されると考えています。	◎	(3) 交通の方針 ① 幹線道路の整備 東名高速道路、富士山静岡空港、新東名高速道路、市の中心拠点などへのアクセス機能の強化に向け、 <u>国道</u>

		<p>(3) 交通の方針</p> <p>①幹線道路の整備</p>		<p><u>1号の4車線化、国道473号バイパスの早期完成、菊川インターチェンジのフルインターチェンジ化、大代インターチェンジの完成型及び、国道1号大代インターチェンジから新東名島田金谷インターチェンジ間の4車線化について、国・県に整備を働きかけます。</u></p> <p>(原案) P162</p>
(金谷) 42	<p>高齢者が活用しやすい、公共交通の確保が必要ではないか</p>	<p>(都市政策課)</p> <p>公共交通の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。</p> <p>また、高齢者だけでなく誰もが利用し異動しやすいという考え方が大切だと考えるため、全体構想(原案P110)の公共交通の方針の中で、誰もが移動しやすい公共交通手段の確保のため、鉄道・バス・タクシー・ワゴン車などを活用したデマンド運行などについて記載しています。</p> <p>(3) 交通の方針</p> <p>④交通結節点の整備</p> <p>⑤バスなどの公共交通の充実</p>	◎	<p>(3) 交通の方針</p> <p>④交通結節点の整備</p> <p><u>地域拠点である金谷公民館周辺や金谷駅などにおいて、バスなどの乗継の利便性を高める取り組みに努めます。</u></p> <p>⑤バスなどの公共交通の充実</p> <p><u>公共交通については、移動ニーズに合わせたバス、タクシーなどの効果的・効率的な運行を検討します。また、地域主体の自家用有償旅客運送制度の導入を検討します。将来的にはICTなどを活用した移動サービスの導入を検討します。</u></p> <p>(原案) P162</p>
(金谷) 43	<p>地域拠点内の道路整備が必要(幅員6m以上の確保)</p>	<p>(都市政策課)</p> <p>地域内交通の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。</p>	◎	<p>(3) 交通の方針</p> <p>②生活道路の整備・修繕</p> <p>快適な生活の基盤となる<u>生活道路に</u></p>

		(3) 交通の方針 ②生活道路の整備・修繕		については、歩行者の安全性・快適性を高めるため、市民との協働を図りながら管理を行い、 <u>拡幅整備や修繕は、優先度を踏まえ計画的に推進します。</u> (原案) P162
(金谷) 4 4	大井川鐵道を地域住民が利用しやすく 取り組みはないか	(生活安心課) 大井川鐵道は現在、観光に重点を置いた 鐵道運行及び経営を行っているのが現 状です。市は、観光路線と併せ、地域住 民の足となる生活路線としての利活用 ができないか協力を働きかけてまいり たいと考えています。	—	
(金谷) 4 5	医療施設の充実、集積化はどのように図 るのか	(都市政策課) 医療施設など都市機能の誘導の基本的 な考え方については、以下の項目に記載 しています。 また、都市機能を有する施設の具体的な 誘導策などについては、個別計画（立地 適正化計画など）で検討します。	◎	(1) 拠点づくりの方針 ①地域拠点の核となる金谷公民館周 辺の整備 地域拠点については、金谷公民館周 辺を位置付け、現在金谷地域内にあ る2か所の支所機能を統合し、健康・ 福祉・交流などの機能を有する地域 の拠点を形成します。 また、 <u>地域拠点においては、都市施設 の整備と併せ、医療・福祉・商業・子 育て支援といった都市機能の誘導を 行うとともに、各地域からのアクセ</u>
(金谷) 4 6	医療施設の中核となる施設や小児科の 誘致はどのように誘導していくのか	(1) 拠点づくりの方針 ①地域拠点の核となる金谷公民館周 辺の整備		

				すがしやすい公共交通の確保を図ります。 (原案) P161
(金谷) 47	予防医療が可能なまちづくりが必要ではないか	(健康づくり課) 生活習慣病の発症や重症化を予防するため、生活習慣の改善や健(検)診の受診を勧めています。知識を普及するための講座や健康相談、訪問指導を実施しており、受けやすい健(検)診の実施にも努めています。	—	
(金谷) 48	健康創出のまちづくりをどのように考えているのか	(健康づくり課) 地域を単位とする保健委員活動などを推進していくほか、地域の人、地域で活動する団体などの地域の力を結びつけ、地域全体の健康づくりを推進する環境整備に努めます。	—	
(金谷) 49	防災に強い地域づくりはどのように考えているのか	(危機管理課) 日頃より、自助、共助の重要性について啓発を重ねており、そのための具体的な仕組みづくりも進めています。 住民の皆さんには、平素から必要物資の備蓄、避難行動の確認をお願いすると共に、地区の自主防災活動に御協力いただきますようお願いいたします。	—	

<p>(金谷) 50</p>	<p>防災及び医療の向上のため、ヘリポート 新設の考えはあるのか</p>	<p>(危機管理課) 現在、金谷地区の6箇所をヘリコプター 活動拠点として登録しており、災害時や 緊急時に活用する計画となっております。 富士山静岡空港も近いことから、金谷地 区での航空拠点の新設は考えておりま せん。</p>	<p>—</p>	
<p>(金谷) 51</p>	<p>子育て環境の向上とPRをどのように実 施するのか</p>	<p>(保育支援課・子育て応援課) 島田市では「しまだ子ども未来応援プラ ン」を策定し、「子育てしやすいまち パ パ・ママが住みたくなるまち 子育て 応援都市 島田」を基本理念とし、未来を 担う子ども達の健やかな成長のため、地 域が一体となって、子どもを真ん中に据 えた環境づくりを目指しております。今 後も、子ども達の健やかな成長にとっ て、何が大切かという視点を第一に、子 育て支援に努めて参ります。PRについ ては、島田市のホームページ、広報しま だはもとより、しまいくラインやFMし まだなども活用し、情報をお届けしま す。</p>	<p>—</p>	

<p>(金谷) 5 2</p>	<p>アウトレットに観覧車をつくり、南アルプス、駿河湾、富士山、夜景を観光資源として活用できないか</p>	<p>(戦略推進課) この事業は、「旧金谷中学校跡地の活用に向けた基本計画」を実現・実施できる事業提案者を公募型プロポーザルにより選考し、その事業者により有料で土地を貸す組立です。現在、事業者側で計画策定を進めております。なお、事業者も富士山や大井川などの眺望を活用する考えを持っているようですが、事業提案書には観覧車設置の計画はありません。</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の目標・・・広域的な交流人口の拡大、賑わいの創出 ・基本計画の方向性・・・観光・レクリエーションの拠点として、観光・交流機能の充実、美しい茶園と調和する自然とのふれあいの場を整備 	<p>—</p>	
<p>(金谷) 5 3</p>	<p>健康を目的とした観光客の集客が必要ではないか</p>	<p>(戦略推進課) 旧金谷中学校跡地活用事業について、事業者側の計画では、環境型観光施設と環境型健康施設の2事業が提案されており、後者は健康目的の集客事業となります。</p> <p>具体的な事業内容は今後示されること</p>	<p>—</p>	

		になります。提案書ではノルディックウォーキングや健康に関するワークショップなどの集客事業が掲げられています。		
(金谷) 54	地域拠点周辺を住宅や商業地として活用することが重要だ	<p>(都市政策課)</p> <p>拠点周辺の整備の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。</p> <p>(1) 拠点づくりの方針</p> <p>① 地域拠点の核となる金谷公民館周辺の整備</p> <p>(2) 土地利用の方針</p> <p>① 地域拠点や鉄道駅周辺の利便性の高い居住環境の形成</p>	◎	<p>(1) 拠点づくりの方針</p> <p>① 地域拠点の核となる金谷公民館周辺の整備</p> <p>地域拠点については、金谷公民館周辺を位置付け、現在金谷地域内にある2か所の支所機能を統合し、健康・福祉・交流などの機能を有する地域の拠点を形成します。</p> <p>また、<u>地域拠点においては、都市施設の整備と併せ、医療・福祉・商業・子育て支援といった都市機能の誘導を行うとともに、各地域からのアクセスがしやすい公共交通の確保を図ります。</u></p> <p>(2) 土地利用の方針</p> <p>① 地域拠点や鉄道駅周辺の利便性の高い居住環境の形成</p> <p><u>地域拠点や鉄道駅周辺については、生活利便性を活かし、子育て世代をはじめ多世代が住みやすい快適な居住環境の形成を図ります。</u></p> <p>(原案) P161</p>

<p>(金谷) 5 5</p>	<p>KADODE OOIGAWA を川根路や SL の拠点にできないか</p>	<p>(都市政策課) KADODE OOIGAWA を拠点とした交通結節点の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。 (3) 交通の方針 ④交通結節点の整備</p>	<p>◎</p>	<p>(3) 交通の方針 ④交通結節点の整備 <u>「KADODE OOIGAWA」では、大井川鐵道新駅の整備と合わせて、鉄道やバスなどの複数の交通機関を連携させるマルチモーダル施策を進めます。</u> (原案) P162</p>
<p>(金谷) 5 6</p>	<p>農地を市民農園として活用する考えはないか</p>	<p>(都市政策課) 農地の保全活用についての基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。 また、中山間地の農業の担い手耕作放棄地の具体的な対策については、他の個別計画で検討します。 (6) 環境との調和の方針 ①農地の保全・活用</p>	<p>◎</p>	<p>(6) 環境との調和の方針 ①農地の保全・活用 本市の基幹作物であるお茶については、茶畑の優良農地を保全するとともに、集積・集約化を図ります。 <u>農地については、国土や自然環境の保全、水源かん養、景観形成、災害時の防災空間などの多面的機能を有することから、都市的土地利用との調整を行う中で、「島田市農業振興地域整備計画」などによる適正な保全管理に努めます。</u> また、<u>農業体験の場や地域住民と都市住民との交流の場として活用します。</u> (原案) P164</p>
<p>(金谷) 5 7</p>	<p>中山間地域の農地は後継者不足により耕作放棄地となっているため、対策が必要ではないか</p>			
<p>(金谷) 5 8</p>	<p>地域拠点周辺を住宅地として整備し、ぼらの丘のような街並みにしてはどうか</p>	<p>(都市政策課) 地域拠点周辺の居住環境の基本的な考え方については、以下の項目に記載して</p>	<p>◎</p>	<p>(2) 土地利用の方針 ①地域拠点や鉄道駅周辺の利便性の高い居住環境の形成</p>

		います。 (2) 土地利用の方針 ①地域拠点や鉄道駅周辺の利便性の高い居住環境の形成		<u>地域拠点や鉄道駅周辺については、生活利便性を活かし、子育て世代をはじめ多世代が住みやすい快適な居住環境の形成を図ります。</u> (原案) P161
(金谷) 59	空き家については、空き家バンクの活用が重要	(都市政策課) 空き家対策の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。 (2) 土地利用の方針 ⑤空き地・空き家の利活用	◎	(2) 土地利用の方針 ⑤空き地・空き家の利活用 今後、増加が予測される <u>空き地・空き家については、リノベーションなどにより地域住民の交流の場などとしての活用や所有者と活用したい人のマッチングなどを通じた利活用を検討します。</u> (原案) P161
(金谷) 60	地域コミュニティの発展が重要	(都市政策課) 地域コミュニティ機能や地域の交流機能の基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。 (4) 安全安心・コミュニティの方針 ⑦各種コミュニティ施設の活用	◎	(4) 安全安心・コミュニティの方針 ⑦各種コミュニティ施設の活用 <u>地域のコミュニティ機能については、公民館などを生涯学習や市民活動・交流の拠点として、また地域子育て支援センターなどを子育て支援の拠点として活用します。</u> (原案) P163
(金谷) 61	食品、医療品を主体とした産業のまちづくりが重要	(都市政策課) 企業誘致などの基本的な考え方については、以下の項目に記載しています。 (2) 土地利用の方針	◎	(2) 土地利用の方針 ③新東名島田金谷インターチェンジ周辺の企業誘致・工業用地整備推進 新東名島田金谷インターチェンジ周

		③新東名島田金谷インターチェンジ周辺の企業誘致・工業用地整備推進		<u>辺については、地区計画に基づき、道路などの基盤整備を進めるとともに、広域交通の利便性や地域特性を活かし、新たな産業の創出や次世代の成長産業分野の企業誘致を推進します。</u> (原案) P161
--	--	----------------------------------	--	---